

## 「Sky-Go-LAND」開業



窓も大きく、車椅子にも対応している

よみうりランド（東京都稲城市、川崎市）は、開園60周年を記念して建設を進めてきた新観覧車「Sky-Go-LAND（スカイゴーランド）」を開業した。国内初となる冷暖房完備の Gondola を備え、季節を問わず快適な「空の旅」を楽しめる。広くゆったりと座れる室内には、車椅子のまま搭乗できるのも特長の一つ。観覧車の施工は、サノヤス・ライド（大阪市）が担当した。総工費は12億円。既存の「大観覧車」とともに新旧二つが並んで運行する国内唯一の「ツイン観覧車」を2025年1月13日まで見ることができる。

### 国内初、冷暖房完備 車椅子にも対応



新観覧車（右）と大観覧車。国内唯一の「ツイン観覧車」がお目見え



溝口社長

園内ファミリーエリアに完成した新観覧車は、最高部高さ59m、回転直径57mで、Gondola 数42台、定員は1台4人。約14分かけて一周する。眺望にもこだわり、既存観覧車より窓を広くとり、最高到達地点は標高約160mで遊園地全体はもとより、晴れた日には都心部の高層ビル群や東京スカイツリー、富士山まで



大門社長

新観覧車について、サノヤス・ライドの大門淳社長は「単に景色を楽しむだけのものではなく、多様な方々に新たな価値を提供するもの。パリアフリー設計は、よみうりランドの全ての人に楽しさを与えるという理念を体現した。観覧車には

見渡せる。フルカラーLED照明483灯を備え、さまざまな光の演出ができる。10月24日から運行を始めた。同日のオープニングセレモニーで、よみうりランドの溝口烈社長は「サノヤス・ライドの施工により60周年という記念すべき年に立派な観覧車が完成したことを大変うれしく思っている。観覧車は遊園地のシンボルであると同時に、遠くからも見える地域のランドマークにもなる。お客さまの一生の思い出に残る観覧車を継続していくべく、ぜひ新旧二つの観覧車を楽しんでいただきたい」と語った。



冷暖房完備のGondola

日本初となる換気機能の付いた冷暖房が完備されている。フルカラーのLED照明は、季節やイベントに合わせて異なる演出ができるように設計し、今シーズンは照明デザイナーの石井幹子氏の特別演

出によるツイン観覧車をお楽しみいただける」と説明した。また、「歴史ある遊園地の新たなランドマークとなる観覧車の建設に携わらせていただき社員一同光栄に感じている。長年にわたり観覧車をほじめとした遊具機械を設計・施工してきた当社の技術力と経験を生かし、今プロジェクトに全力を挙げて取り組み、安全性はもとより機能性やデザインにもこだわった。新しい観覧車が、よみうりランドのさらなる発展に貢献し、お客さまに笑顔と思い出を提供できることを心より願っている」と述べた。

### テーマは「LIGHT is LOVE」

#### ジュエルミネーション2024

開園60周年を祝うダイヤモンドのイルミネーションに包まれた遊園地。東京都稲城市と川崎市にまたがる、よみうりランドで、冬の風物詩となる「ジュエルミネーション2024」が始まった。ジュエルミネーションは、石井幹子デザイン事務所が開発した宝石色のイルミネーション。15シーズン目を迎えた今年のテーマは「LIGHT is LOVE」。ジュエルダイヤモンド60セレブレーション。開園60周年を迎えたよみうりランドと結婚60周年を祝う「ダイヤモンド婚」にちなみ、入園者とよみうりランドがダイヤモンドのように愛に満ちた絆で結ばれることを願い、光で表現している。会期は2025年4月6日まで。10月24日の点灯式で、よみうりランドの溝口烈社長は「今年の新色も『ダイヤモンド・ジュエリーカラー』とダイヤモンドの輝きが永遠に続くようにという願いを込めている。開園60周年にちなんでつくった新しい観覧車からもジュエルミネーションがとてきれいに見える。また、イルミネーションはSDGs（持続可能な開発目標）の一環でグリーン電力を使っている。光と音楽が奏でる



点灯式



ダイヤモンド色に包まれた園内

